

- ・帯広南RC、4月30日（月）振替祭日休会と致します。
- ・帯広東RC、5月1日（火）は休会と致します。
- ・帯広RC、5月2日（火）は休会と致します。
- ・帯広西RC、5月3日（木）祭日休会と致します。
- ・帯広北RC、5月4日（金）祭日休会と致します。

(4)帯広RC、移動夜間例会開催のご案内
(花見例会)

日 時 平成19年5月9日（水）午後6時
場 所 北海道ホテル

(5)例会終了後、理事会を開催致します。

■米山奨学生カウンセラー委嘱状贈呈

小倉 豊会員



■委員会報告

- ・出席報告 藤井 俊雄出席委員
4月11日例会 会員総数103名（出席免除11名）
本日の出席者数67名
3月14日例会のメーキャップを含む出席者数
及び出席率 79名 83.2%
3月の平均出席率 85.3%
- ・ニコニコ献金 工藤 大輔親睦副委員長
高橋 猛文会長
4月8日皆様のご支援で“はる”が咲きました。
有難うございました。素晴らしい北海道になる
と思います。

川上 勝久会員

この度特別養護老人ホーム帯広「慈恩の里
(じおんのさと)」が光南病院の隣に開設致し
ました。関連機関上、当施設の嘱託医も兼ね
ることとなりました。近い将来皆様のお越し
をお待ち致しております。

神谷 昭典会員

先日はホテル開業披露宴に帯広RC会員の皆
様に多数ご出席頂きましてありがとうございました。4月1日から「ホテル日航ノースラン
ド帯広」としてスタートしております。引き
続きどうぞ宜しく願い致します。

竹川 博之会員

本日例会を担当させて頂きます。宜しくお
願い致します。

宇佐美暢子会員

卓話をさせていただきます。よろしくお願
いいたします。

- ・会員誕生祝
国枝 宏有会員

- ・配偶者誕生祝い
国枝 宏有会員

- ・結婚祝い
加藤 維利会員
竹川 博之会員

■閉会宣言

田中 一郎副SAA

■点鐘

高橋 猛文会長

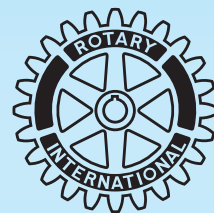
■次週プログラム予定

「ゲスト」第6分区分ガバナー補佐 仲村 晋様

「会員卓話」 (環境保全委員会)

内木 泰永会員

「天然ガス転換による環境負荷の軽減について」



ROTARY CLUB OF
OBIHIRO
DISTRICT 2500

2006-2007年度国際ロータリーのテーマ
率先しよう LEAD THE WAY

方針

原点

会長 高橋 猛文

■プログラム

「会員卓話」

広報・雑誌委員会

「ロータリーの雑誌について」

竹川 博之広報・雑誌委員会委員長



広報・雑誌委員長の竹川でございます。よろ
しく願い致します。

国際ロータリーは、今月、4月を“雑誌月間”
に定めております。そこで、雑誌のお話をさせ
て頂きます。なお、先輩ロータリアンの田中パ
ストガバナー、合田元会長よりご提供頂きまし
た資料に基づきまして、報告させて頂きます。

国際ロータリーの定款・細則はもとより帯広
RCの定款第13条に「会員はR1の指定する公式機
関紙又は公式に認められている地域紙を購読す
ること」と明記されております。つまり、R1の
指定する公式機関紙は英文の“ザ・ロータリア
ン”又はR1で公式に認められる地域雑誌の2種類
があるということです。現在世界で31の地域雑
誌があり購読が義務付けられております。

日本の場合、お手元にある“ロータリーの友”
が公式の地域雑誌になるのです。

No. 2743

第3061回例会
平成19年4月11日

これは、1953年1月に創刊され、1983年の7月
より公式の地域雑誌としてR1の承認を受けてお
ります。

この“ロータリーの友”はR1の指定記事の掲
載、充実した内容、多彩な編集、すばらしい装
訂等から、1993年に“最優秀公式地域雑誌”と
して表彰を受けています。又、創刊当初は全て
横書きでしたが、その後俳壇、歌壇といった横
書きでは、都合の悪い欄もあり、縦書きも交じ
った現在の様式に1972年1月よりなりました。会
員間のコミュニケーションの場、あるいは基礎
的な知識を高める為にも“ロータリーの友”は
貴重な情報源と言えます。ロータリアンのすば
らしい情報誌“ロータリーの友”に愛着を持ち
身近な座右の書として、活用して戴けますよう
お願い申し上げます。又、本日は担当例会とし
まして、帯広RCのメンバーである宇佐美暢子道
新支社長に“効果的な広報とは？”というテー
マでの会員卓話をお願いしております。

「効果的広報とは」

宇佐美 暢子会員



例会日／水曜日 12:30～13:30 例会会場／ホテルノースランド帯広 TEL0155-24-1234
●創立／昭和10年3月15日●認証番号／3820●戦後再開／昭和25年12月19日



事務局／帯広市西3条南9丁目 経済センタービル4F TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033
●発行／クラブ会報●委員長／和田 賢二・石神 美代・加藤 維利・小部 敏一・小白 智志
木本 健・佐藤 睦浩・宇佐美 暢子
●ホームページアドレス／http://www.tokachi.co.jp/obihiro-rc/

広報・雑誌委員会の竹川委員長から、ロータリーの広報活動や引いては企業の広報について話してほしい、というご依頼を受けました。まだ、会員になって1年足らずの新参会員が高いところからお話するような立場にはないのですが、新聞社に身を置く者として、少しでも皆様のお役にたてるなら、ということでお引き受けしました。主に、外部への広報について一般的なお話をします。的はずれなこともあると思いますが、お耳を貸していただければ幸いです。

●活動の積極的なPRを●

ロータリークラブの存在は知っていましたが、こんなにも幅広く、地域に、世界に貢献しているのだということは会員になって初めて、理解できました。もったいないなあ、と思いました。つまり、もっと活動内容をPRしたほうがいいのでは、と思ったのです。マス・メディアの側に立ってみれば、例えば、先日の7クラブ合同例会での梅林正直・三重大学名誉教授の講演は大変面白く、会員外の方にも聞いていただいたら、あるいは新聞やテレビ、地域FMなどに取材してもらったらよかったのに、と思いました。その点、IM集会の日本ハム・大社オーナーの講演は事前PRがなされ、新聞の取材が入って紹介されてよかった、と思いました。

このように興味深い企画があるときは、もっと積極的に公開してはどうでしょうか。会場の制約などもあるでしょうが、会員外の方も聞きに来られるようなことがあってもいいのでは、と思います。こうした各種行事、公式訪問、周年創立記念日など節目には事前PRをぜひ、と思います。米山記念奨学会の活動なども素晴らしいと思います。シンインソンさんが先日、帰国されましたが、年度の節目に他クラブの奨学生をまとめて紹介するとか、例えば100人に達したときなどに活動を紹介するようなことがあっていいのでは、と思いました。

奉仕活動は黙々とやるものだという考え方もありますが、奉仕の心を広めるための積極的PRもひとつの方策と思います。

ただし、こうしたことすべてが新聞などでとりあげられ、記事になるとは限りません。どうすればよいか。3つくらいのポイントがあります。

●ニュース性とタイミング●

新聞社や放送局などの個性にもよるので一概にはいえませんが、マスメディアが取り上げる

基準はまず第1に、ニュース性があることです。同じような例がたくさんあれば、とりあげにくいので、他とは違う価値がある、特異な側面があるということが重要です。

先ほど申し上げたように、講演の場合は講師にニュース性があることが必要です。

米山奨学生100人目というのも価値あるニュースです。

第2はタイミング。これも大切です。タイミングが悪いと、せっかくのニュースもニュースでなくなってしまう。事前に新聞社や放送局にお知らせすることです。2、3週間前くらいが適当です。あまり早すぎると忘れられることも。

●記者クラブ活用も念頭に●

その際、なるべく詳しい資料を提供することも重要です。講演なら講師のプロフィールとか顔写真など。これが第3のポイントです。記事にしたいな、と思わせたらしめたものなのです。

報道する価値があるかどうかの判断材料は多いほうがいいですし、結果的に的確な報道につながります。

その際、記者クラブの活用も考えたほうがいいでしょう。

十勝に来て感じるのですが、報道してほしいことがある場合、新聞社や放送局に直接出かけることももちろん有効ですが、市役所や商工会議所にある記者クラブをもっと活用してはどうか、と思います。

他の地域に比べて活用が少ないように思います。記者クラブには全国紙も含め、さまざまなメディアが加盟していますので、なんらかの形で取り上げてくれる可能性が広がります。すぐ普通の記事にならなくても、お知らせコーナーや人の紹介欄のようなところで取り上げる可能性もあります。加盟社の数だけ資料を用意し、提供しましょう。

必要なら、日時を決めてそこに説明に出かけるとよいでしょう。そうすれば、平等に情報が提供されるので、各メディアは競って取り上げるということになります。

こうしたポイントはロータリークラブの広報に限らず、会員のみなさんの企業に関する広報にも通じますので、ご参考になればと思います。

●イメージ広告の活用も●

広告の活用も有効です。以前、当クラブ会員全員の顔写真を載せた新聞の全面広告を掲載し、

イメージアップをはかった、とお聞きしました。すばらしいと思います。

ロータリークラブの認知度が高まり、会員増強にもつながったのではないのでしょうか。もちろん、費用がかかることですから、いつでも、というわけにはいかないでしょうが、周年記念などの節目には効果的でしょう。

●紙とネット組み合わせて●

さらに、クラブ内部に向けた広報のお話もします。今はインターネットの時代ですから、ホームページの充実もこれからの課題でしょう。全国のRCのホームページをのぞくと面白いユニークなクラブもあります。当クラブのものはやや地味かな、という印象を受けます。

例えば、例会の中身をもう少し具体的に紹介するコーナーを作ってはどうかでしょうか。私は会報委員の1人ですが、会報で紹介している例会の内容を時には、ネットにも載せては、と思います。

会報を簡略化して、詳報はネットで、という手法もあるでしょう。会員全員のネット環境が整えば、将来的には会報をすべてネットで見る時代が来るかもしれません。

ただ、それについては賛否もあり、日々、新聞を作っているものとして、紙で読むよさはかけがえのないものだと思います。

一覧性があり資料的価値も高いことですし。ですから、ロータリークラブの広報も当分は紙とネットの双方を駆使していくことになると思います。いずれにしても、広報・雑誌委員会や会報委員会の考え方にもよりますので、1個人の参考意見としてお聞きください。

以上、皆さん、すでにご存知のことばかり申しあげました。今回、申し上げたことは良い側面のPRばかりです。竹川委員長からは、もし、万が一、不幸にも不祥事が起きた場合のこと、企業のリスク管理にかかわることも話してほしい、とご提案を受けました。でも、きょうは時間もなく、私の手に余ることなので、差し控えます。

もし、そのようなことがおきた場合はすみやかに全容を把握し、今後の方針を決めて、早めに一斉に発表するという事に尽きます。各マスコミに同時に発表することが大切です。いつか機会があれば、この分野の専門家にお話をうかがい、ともに勉強させていただきたいと願っております。

つたないお話をお聞きくださり、感謝申し上げます。ありがとうございました。

■点鐘 高橋 猛文会長

■開会宣言 田中 一郎副SAA

■ロータリーソング（奉仕の理想） 田中 一郎副SAA

■会長報告 高橋 猛文会長

皆さんこんにちは、まず一点目ですが、後ほど委嘱状をお渡し致しますが、米山カウンセラーということで、当クラブの小倉豊さんが委嘱をされております。米山奨学会の最たる事業でございまして、毎年どなたかにお骨折りを頂いておりますが、来年度一年、小倉さんには宜しくお願いしたいと思います。

それと二点目ですが、今月はロータリー雑誌月間ということで、今日の例会もその委員会の担当ですが、なかなか私も役員になるまでは読む機会がなかったのですけれども、今月号にも書いてございますが、ロータリアンには3大義務というものがあります。

それは、例会の出席、会費の納入、さらにロータリー雑誌の購読ということで、皆様方のラックの中には、毎月「ロータリーの友」が入っていると思います。皆さん買うということまではしていらしゃいますが読むということになれば如何でしょうか。これを一冊作るのには、相当の労力をロータリーの仲間達が費やして書いていると思います。色々な意見、ロータリーに対する肯定的なもの、または反論もありますし、国際ロータリーに対する様々な思いなども載っておりますので、これを機会に今月からでも、あらためて皆様方、これをお読み頂ければ思っております。

以上、会長報告とさせていただきます。

■会務報告 國枝 千秋幹事

(1)帯広東RC、移動夜間例会開催のご案内
日 時 平成19年4月24日（火）午後6時30分
場 所 幕別パークホテル悠湯館

(2)帯広西RC、夜間例会開催のご案内
日 時 平成19年4月26日（木）午後6時30分
場 所 北海道ホテル

(3)・帯広北RC、4月27日（金）は休会とします。